



SANSHIN GROUP
Monthly Report on the
ESG Jun.2019

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report (品質)
4. ESG Report (環境)
5. ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

TOP MESSAGE

ある森林の散策に行ってきた。木漏れ日差し込む遊歩道で森林浴を満喫していた横目に「不法投棄禁止」の看板が飛び込んできた。看板の奥を覗き込むと不法投棄物と思われるモノがゴロゴロ...と。不法投棄は「環境犯罪」と呼ばれる立派な犯罪行為である。直ちに人体に影響を与えるような廃棄物は極僅かかもしれないが医療廃棄物、農薬など極めて少量でも危険な物が混入している事も多いのも事実である。また、景観上の問題もある。美しい森林がゴミの山と化してしまっても良いわけがない。法律による罰則や監視体制の強化も必要だが、広く人々が互いに快いと思えるようモラルを高めることが求められる。

サンシン電気株式会社 取締役
加来 孝

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

連日暑い日が続き、日差しも強くうっかりしていると日焼けをしてしまいそうです。こんな季節の方が体が暑さに慣れてなく、熱中症にもなりやすいらしいです。日焼け対策や早めの水分補給を行い熱中症予防など行い楽しく過ごしたいですね。(H.O.)

SANSHINCentre

最近特にどうしよう！と思ったら迷わず実行する。よく考え実行する事は常套手段ですが、それはリスクを伴う判断をする時は、当然良く考えなければなりません。座席を譲る・率先して挨拶する・ゴミを拾う・etc・それらはリスク(非難される事)は全くありません。逆に私は良い事をした「満足感」を少なからず感じる事ができます。皆さんはどうでしょうか？(S.W.)

CSI

セブの季節は雨期と乾期があります。雨期は6月～10月・乾期は11月～5月になります。今年は日中は晴れているのですが、夕方になるとスコールが降ります。気温差が有りますので風邪を引かないように気を付けております。(K.S.)

SC2

西日本ではまだ梅雨入りしていないところがあるようです。梅が大きくならなくて困っているという声も。梅の雨と書くだけあり、梅の生育には梅雨という時期が大事なのですね。昨年のように大雨災害があっても困りますし、ほどよい、というのはなかなか難しいものです。人間もそうですが(苦笑)(M.I.)

SANSHINWest

夏は雑草を取っても、また数日後には生えてきますよね。広範囲には不向きですが、雑草は熱湯をかけるとか枯れますので、麺や野菜を茹でた後のお湯を利用し、除草剤をまかずに安心・手軽に雑草対策をされてみてはいかがでしょうか？(F.H.)

SHINKOWA

6月になり梅雨入りで雨の日が増えてきました。個人的に雨は好きではないですが、夏に水不足が起きないように適度に雨が降って欲しいものです。ゲリラ豪雨は困りますが・・・後1ヶ月もすると茹だるような暑さ来ると思うとゾッとします。(M.N.)

SANSHIN HongKong

公園でペットと散歩する人の中にはペットの犬は皆片付けているが、小に関してはペットボトルで水を流す人、そのまま立ち去る人がいます。この小の方も皆、大と同様水を流してもらいたいものです。(A.W.)

STH

去る5月、SSUでボディケアのセミナーをさせていただきました。後日写真を見せてもらったところ、華麗に足を上げつつ説明している自分の写真が(爆)実年齢と体内年齢は必ずしもイコールとは限りません。自分を諦めることなく、常に人生の質を上げていくという意識づくりをしていきましょう！(M.I.)

ESG Report (品質)

今月のTOPICS

効率よく仕事を終わらせるための就業前に決めておくべきこと

“仕事の進め方”を効率化して、早く終わらせるために段取りするためのスケジュールの立て方を考えてみませんか。

■就業前に終了時間を決める

就業前に終了時間を決めることが、段取り力アップの第一歩です。「段取り上手な人は、常に逆算で考えるクセがついています。大事なのは“絶対にこの時間までに終わる”と決め、その方法を考えること。自分で約束ごとを作ることで、周囲に流されないようになります」

■作業は必ず所要時間を考える

作業に取りかかる時は、所要時間を決めてスタートすること。すると、テンプレートを使い回すといった目標時間を達成するための工夫が生まれます。それでも目標の所要時間に収まらなかったら、原因を検証し、改善につなげる努力をします。

■次の予定は先に埋めておく

予定は“埋まる”ものではなく、自分で“埋める”もの。スケジュールに対し主導権を持てば、次々と入る予定に翻弄されないようになります。

■小さな仕事こそ、明日に持ち越さない

仕事を明日以降に持ち越さないために、できることは“今、ここ”で済ませるクセをつけましょう。

■スケジュール帳はテトリスの要領で使う

スケジュール帳は時間軸付きのバーチャルタイプがオススメです。「資料作成などの時間が決まっていない予定も、前もって所要時間を決め、バーチャルタイプの手帳にブロック状に書き込んでいくこと。そうやって、溜まりがちなデスク作業を視覚化し、分散させていくことで、週明けや月末といった特定の時期のバタバタも防ぐことができます」

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

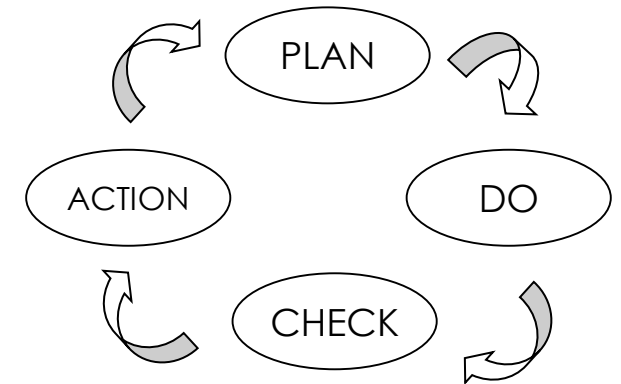
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



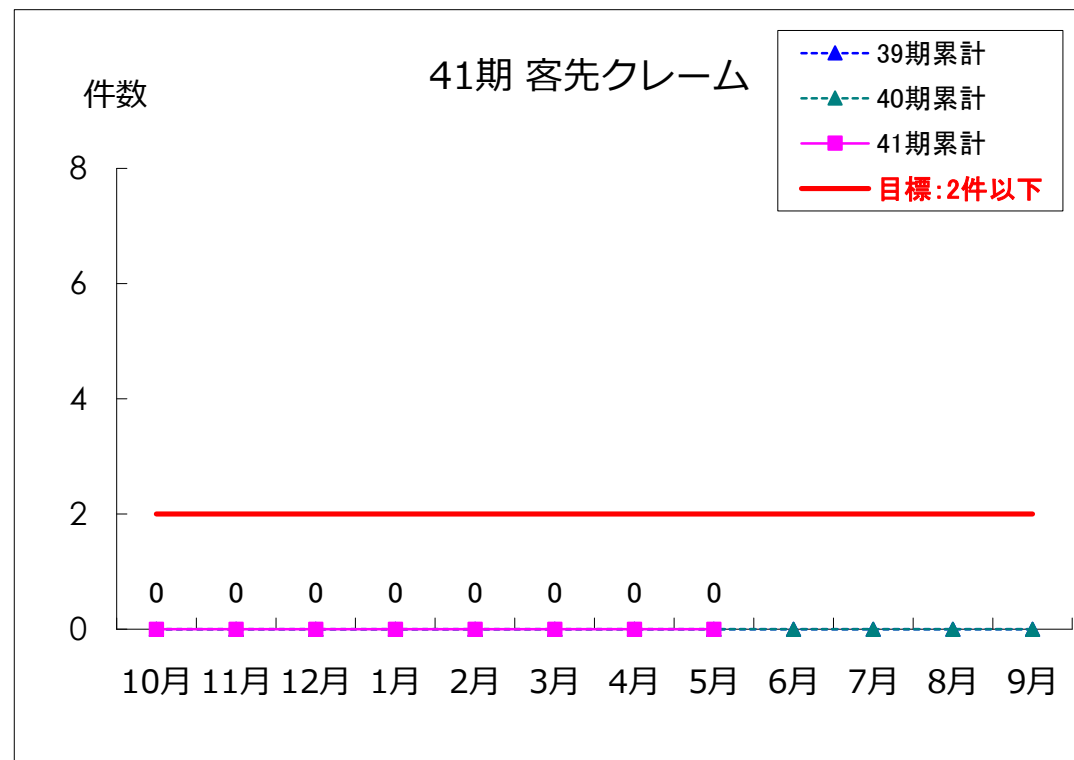
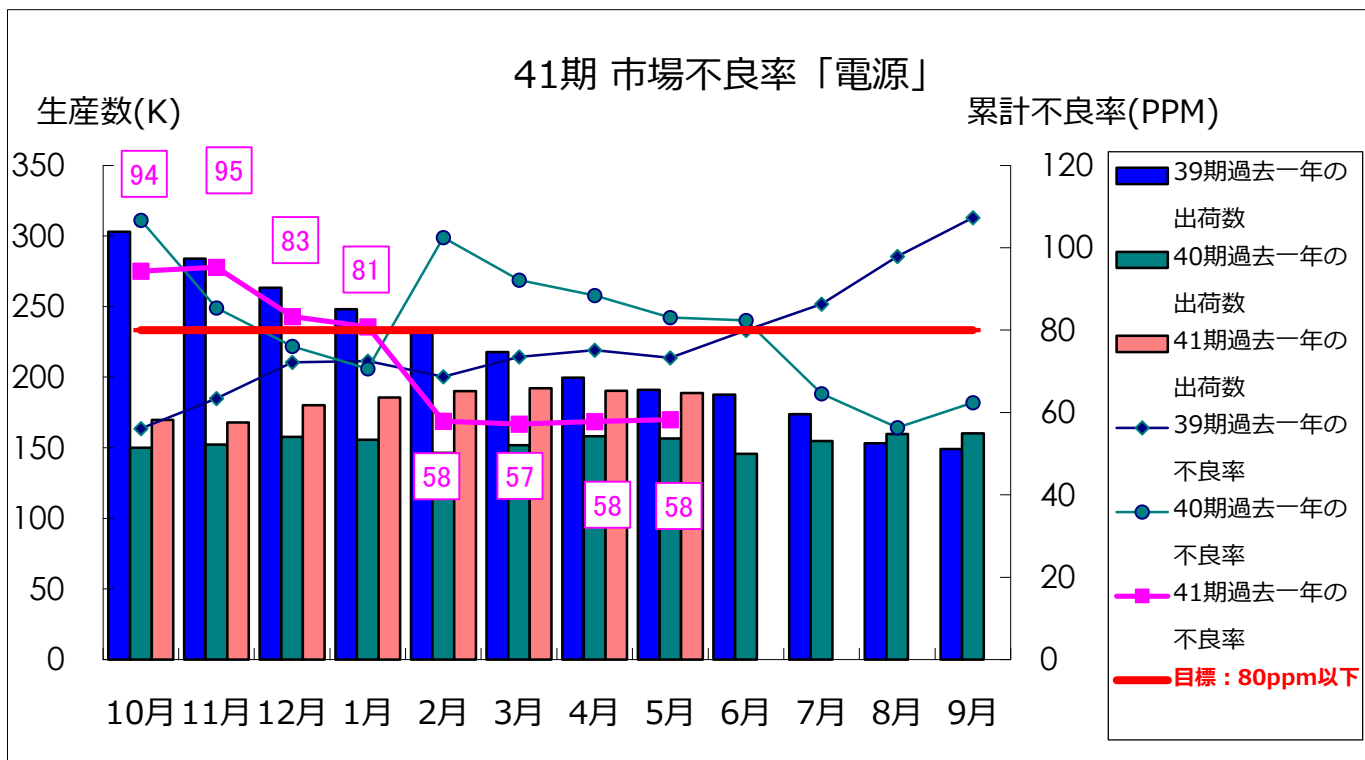
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入不良率 目標 80ppm

41期の累計不良率は、58ppm です。
 市場不良累計(過去1年分) : 11件 客先クレーム : 0件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

□ 世界GDPの約8割 G20大阪サミット開催へ

日米欧や新興国のリーダー会議（G20サミット）が28、29両日に日本で初めて大阪市内で開かれます。貿易や環境が一堂に会する20カ国・地域首脳など世界経済の課題で協調策を探ります。

☑ G20とは？

G20サミット（「金融・世界経済に関する首脳会合」）とは、G7（仏、米、英、独、日、伊、加、欧州連合（EU））に加え、豪、ブラジル、中、印、インドネシア、メキシコ、韓、露、サウジアラビア、南アフリカ、トルコ（アルファベット順）の首脳が参加して毎年開催される国際会議です。G20サミットにはメンバー国以外にも、招待国や国際機関などが参加しています。



今月のTOPICS

☑ G20の設立経緯

リーマン・ショックを契機に発生した経済・金融危機に対処するため、2008年11月、主要先進国・新興国の首脳が参画するフォーラムとして、従来のG20財務大臣・中央銀行総裁会議を首脳級に格上げし、ワシントンDCで第1回サミットが開催されました。以降、2010年まではほぼ半年毎に、2011年以降は年1回開催されています。

☑ G20の特徴とは？

G20サミットは、加盟国のGDPが世界の約8割以上を占めるなど、「国際経済協調の第一のフォーラム」（Premier Forum for International Economic Cooperation：2009年9月のピッツバーグ・サミットで合意・定例化）として、経済分野において大きな影響力を有しています。上記設立経緯もあり、主要議題は基本的に経済分野です。しかしながら、近年取りあげられる議題は、世界経済、貿易・投資、開発、気候・エネルギー、雇用、デジタル、テロ対策、移民・難民問題等多岐に渡ります。

☑ G20サミットの議長国任期はどれくらい？

議長国期間は、12月～翌年11月までの1年間です。

☑ トロイカ体制？

2011年のカンヌ・サミットにおいて公式化された、「G20作業を運営する体制」のことで、現議長国、前議長国並びに次期議長国による協力体制が組まれることを指します。日本がG20サミットの議長国を務める2019年には、アルゼンチン（2018年議長国）、サウジアラビア（2020年議長国）と緊密に連携していくこととなります。

今月のTOPICS

□ G20で議論される環境問題

今回のG20では気候変動問題や海洋プラスチックごみ問題などについて議論されると見られています。それでは前回のG20（ブエノスアイレス）では何が話し合われたのかを一部ご紹介致します。

☑ 首脳宣言

G20ブエノスアイレス首脳宣言では、米国以外のすべてのG20参加国が地球温暖化対策の国際枠組み「パリ協定（Paris Agreement）」は「撤回不可能」だとしてそれを完全に履行することで合意したと明記されました。「米国はパリ協定から脱退する意思を改めて表明している」とも記されています。気候変動については、G20ハンブルク・サミットに引き続き、米国のパリ協定注1)離脱の表明を明記、その他19か国がパリ協定への強いコミットメントを確認し、意見の相違を浮き彫りにした形で首脳宣言が採択されました。会議では米国が気候変動に対する地球規模の行動の支持を拒否し、保護主義と闘うとのこれまで盛り込まれてきた文言を骨抜きにしたため、米国と他のG20参加国との間で意見の相違が目立つ結果となりました。

☑ 気候変動

2017年6月1日に米国のトランプ大統領がパリ協定の離脱を表明した際のステートメントでは、パリ協定からは離脱するとしながらも、気候変動枠組条約には残るとしており、また、同年8月4日に、米国がパリ協定離脱を国連に通知したとの発表においても、「国益を守り、将来の政策オプションをオープンにしておくため、国際的な気候変動交渉に参加。パリ協定実施にかかるガイダンスに関する交渉にも参加する」としていました。したがって、今回の合意内容は、こうした米国の基本方針に沿ったものと思わます。一方、今回の首脳宣言では、長期的な温室効果ガス低排出型の発展戦略や国際的な資金フローの整合化については「議論した」との表現に留まっています。なお、米国のパリ協定離脱表明のステートメントでは、「中国は13年間もCO2を増加させる事ができ、インドは先進国の莫大な資金援助を条件に（パリ協定に）参加した等、米国にとって相当アンフェアである」と、「自国が決定する貢献（Nationally Determined Contribution: NDC）」（温室効果ガス削減目標）への公平性に疑問を呈し、このNDCへの取組みである「緑の気候基金（Green Climate Fund: GCF）への拠出を停止する」としていました。

今月のTOPICS

☑ エネルギー

米国は、2017年7月7～8日に開催されたG20ハンブルク・サミットの首脳宣言において、「経済成長を支え、エネルギー安全保障上のニーズを改善しつつ、排出を低減するアプローチをとるとの強いコミットメントを確認する」とするなど、エネルギーに関しても、米国独自のスタンスを盛り込んでいました。その後、同年8月4日のパリ協定離脱の国連への通知に関する発表においても、G20ハンブルク・サミットの首脳宣言に沿った形で、「イノベーションや技術のブレークスルーを通じて温室効果ガス排出量の削減を続けるとともに、多くの国の『自国が決定する貢献(NDC)』におけるエネルギーアクセスや安全保障の重要性を鑑み、これらの国々の、クリーンかつ効率的な化石燃料のアクセスおよび利用、ならびに再生可能エネルギーおよびその他のクリーンエネルギーの普及を支援すべく、これらの国々と連携する」と表明しています。

以上のように、前回のG20/G7サミットでは、気候変動だけでなく、エネルギーに関しても、（他国とは立場を異にする）米国のみに関する表現が入っていました。他方、G20ブエノスアイレスの首脳宣言では、20ヶ国の合意として、温室効果ガス排出削減に向けて、「多様なエネルギー源および技術進歩があることを認識」しつつ、エネルギー安全保障などに取り組むこと、また、クリーンなエネルギー構成に向けて、「各国の事情に応じて複数のパスが想定されることを認めた」うえで、経済成長と温室効果ガス排出削減を組み合わせたエネルギー転換、エネルギー効率の協力を奨励することとなりました。

☑ 2019年大阪サミットへの示唆

G20ブエノスアイレス・サミットの閉会セッションでは、議長を引き継いだ安倍首相から、2019年6月28～29日に大阪市で開催予定のG20大阪サミットに向けた発信を行われました。この中で、首相は、次回の大阪サミットでは「自由貿易の推進やイノベーションを通じ、世界経済の成長を牽引し、経済成長と格差への対処の同時達成、SDGsを中心とした開発・地球規模課題への貢献を通じ、包摂的かつ持続可能な未来社会の実現を推進したい」と述べました。特に、エネルギー・環境分野では、「環境保護と経済成長の二者択一ではなく、民間投資を積極的に呼び込み、環境と成長の好循環を作る発想が必要であり、気候変動問題や海洋プラスチックごみ問題などの地球規模課題への貢献について、建設的に議論したい」と発信しています。

G20大阪サミットは、G20として日本で初めての開催となります。また大阪では、2025年に万国博覧会の開催が決定しています。万国博覧会のテーマの一つ、国連が掲げる持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)が達成される社会の実現に向けて、気候変動問題は大きな課題の一つです。G20大阪サミットでは、日本が議長国としてリーダーシップを発揮し、万博開催に向けて弾みをつけることも期待されています。

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③コピー用紙使用量
- ④電力使用量
- ⑤切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

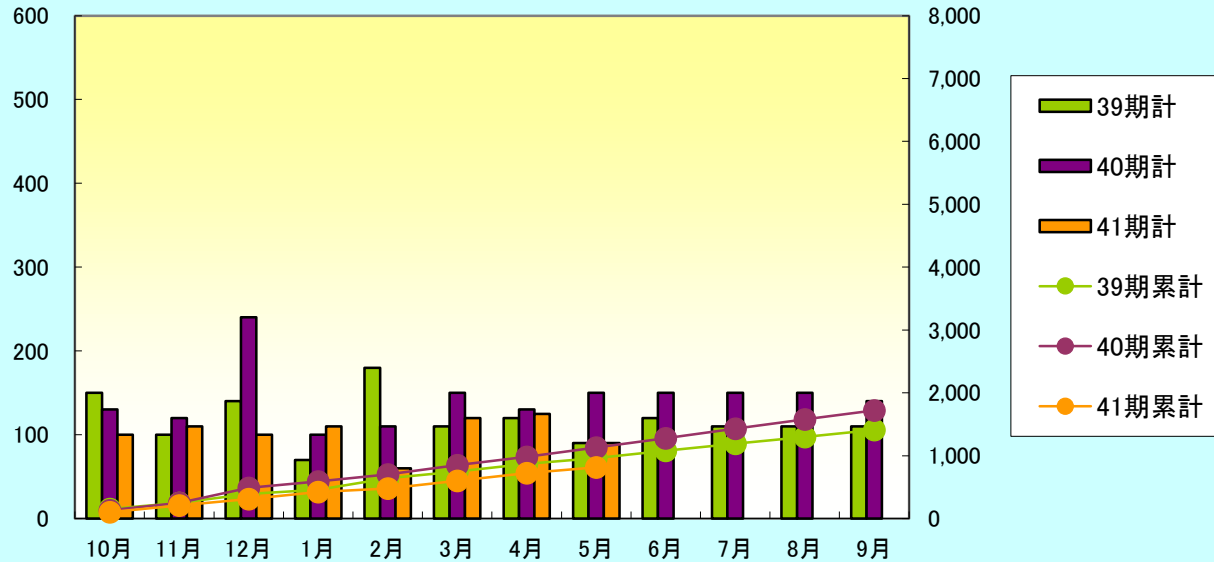
- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



一般廃棄物(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kg)

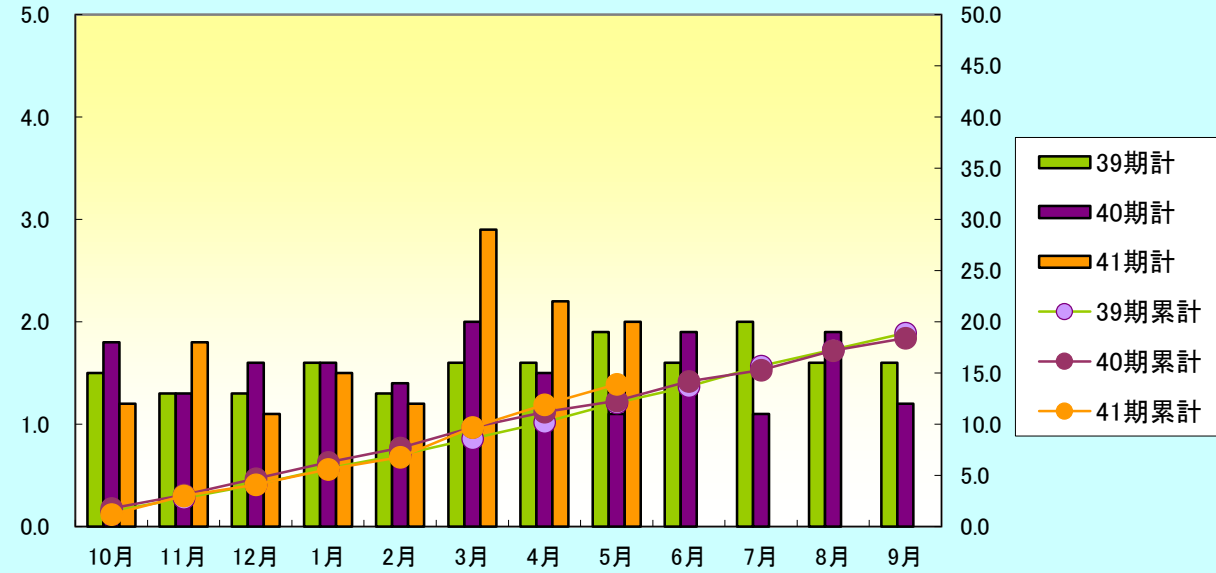
累計/折れ線(kg)



一般産業廃棄物(SSD/本社)

月次/棒グラフ(m³)

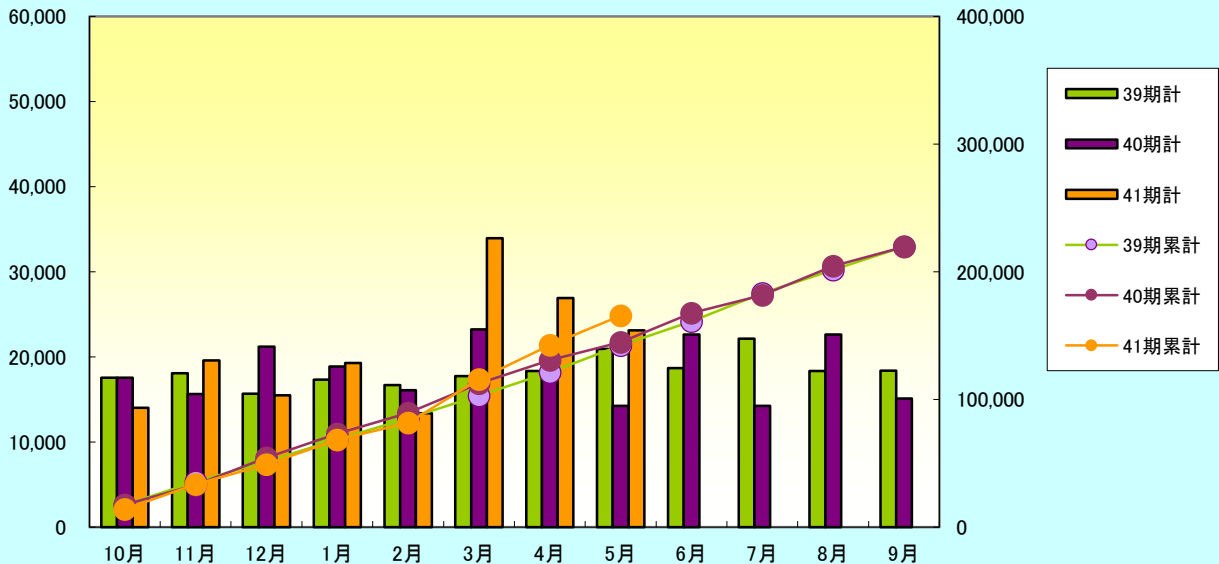
累計/折れ線(m³)



廃棄物処理金額累計

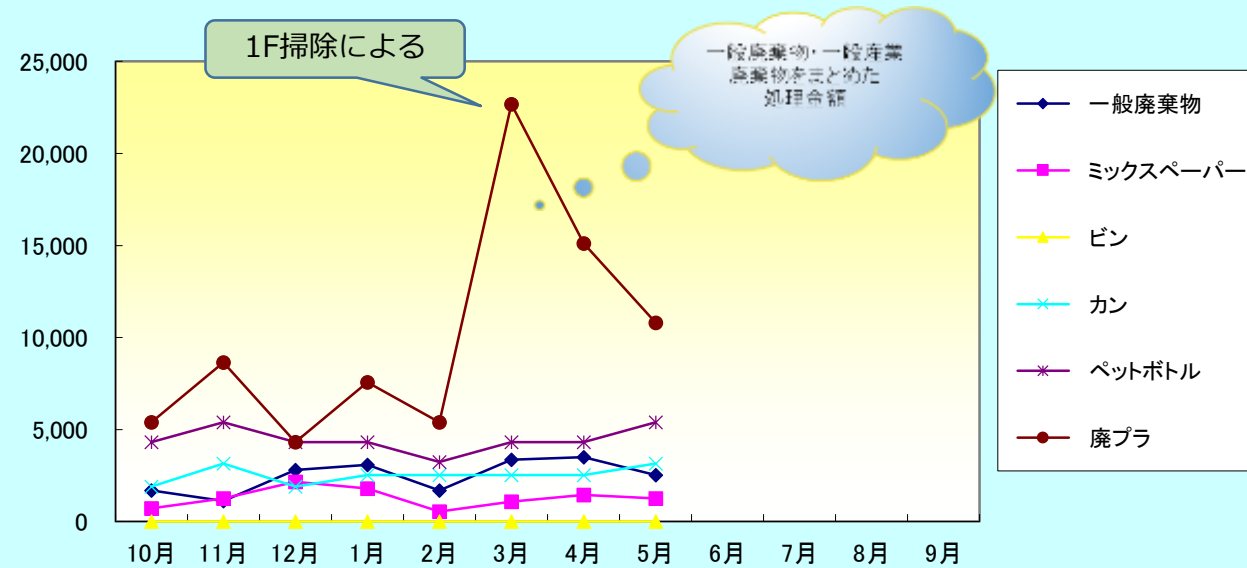
月次/棒グラフ(円)

累計/折れ線(円)



41期 廃棄物処理金額

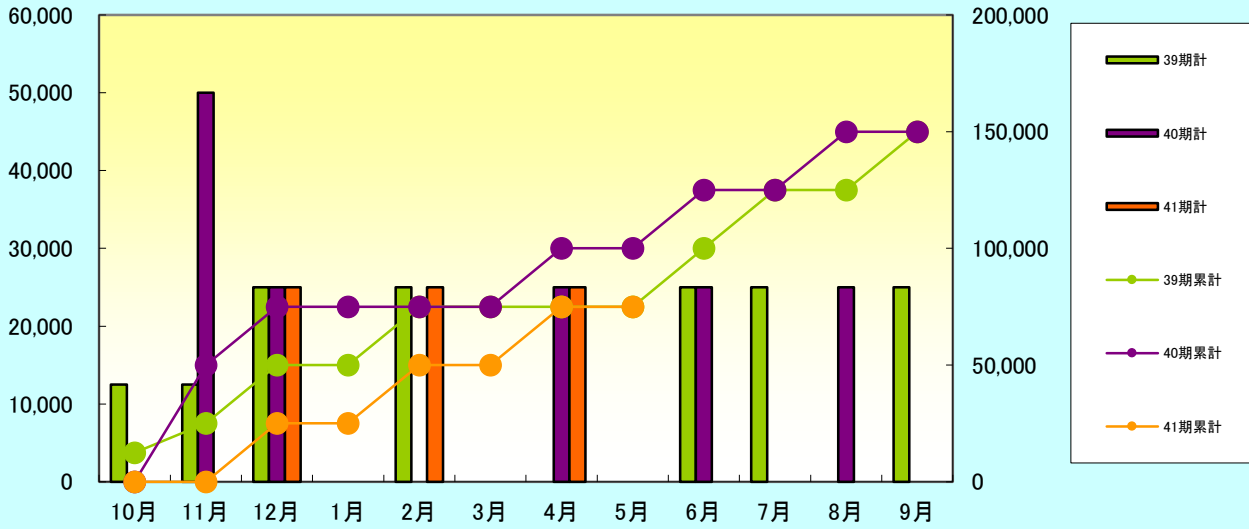
(円)



コピー用紙購入量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(枚)

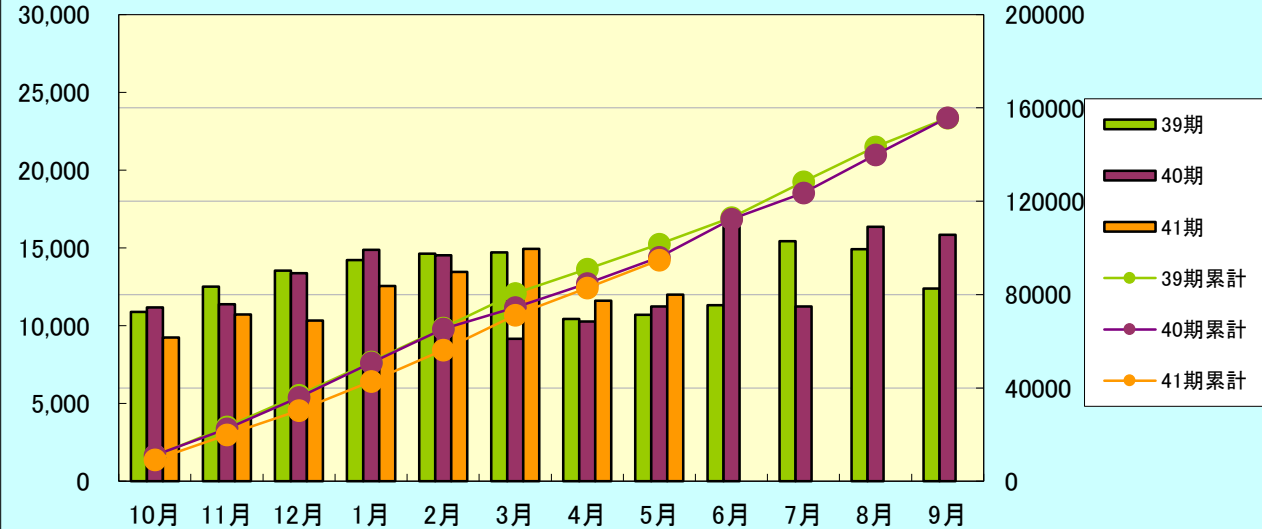
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

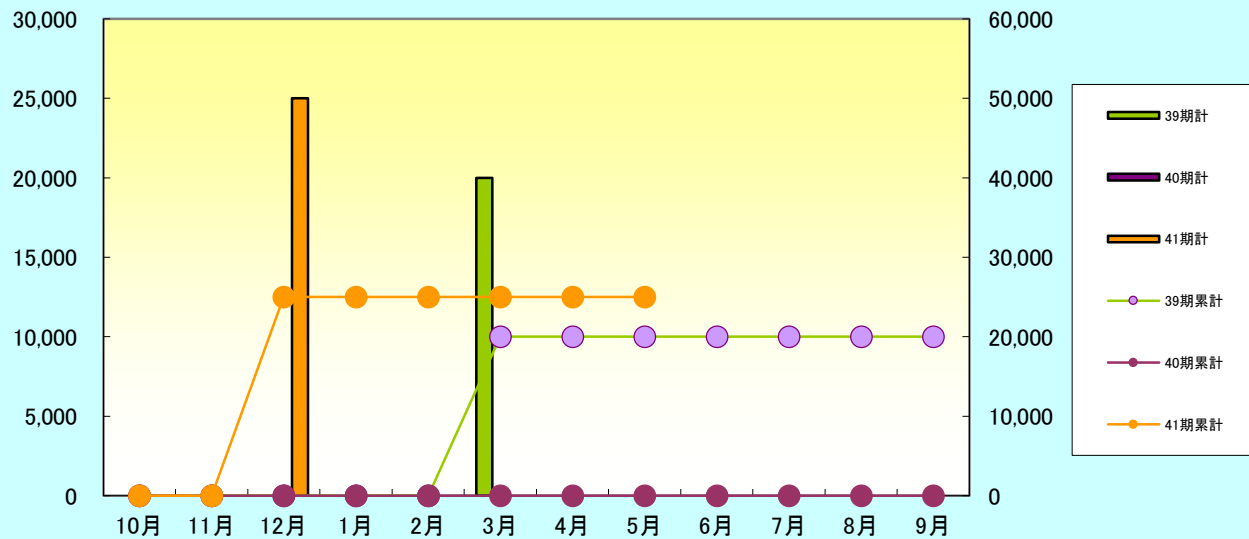
累計/棒折れ線(kwh)



コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(枚)

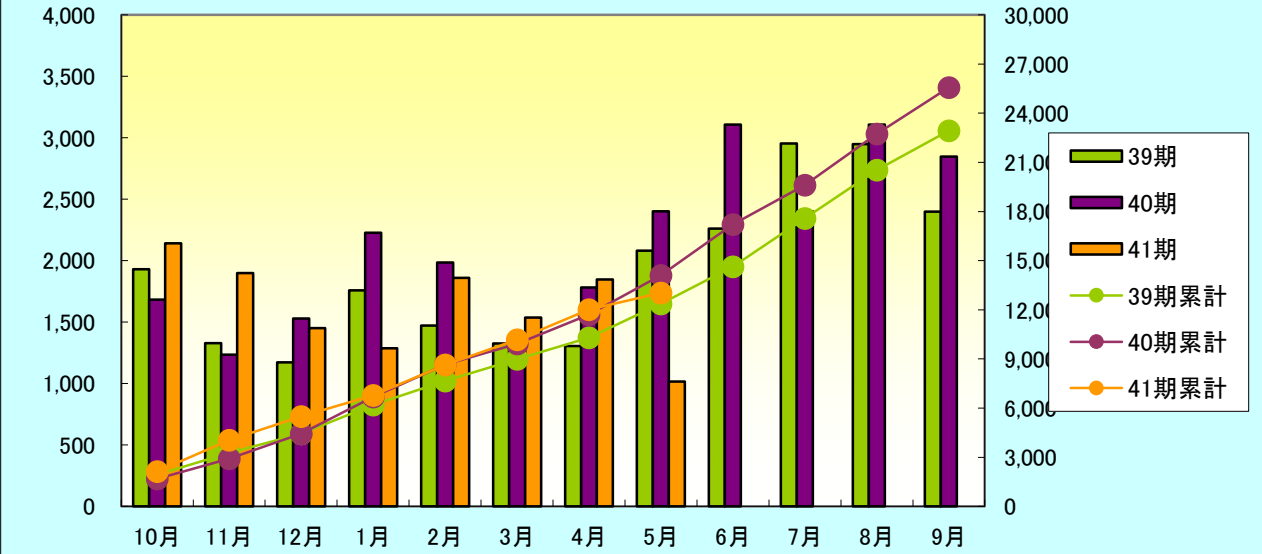
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

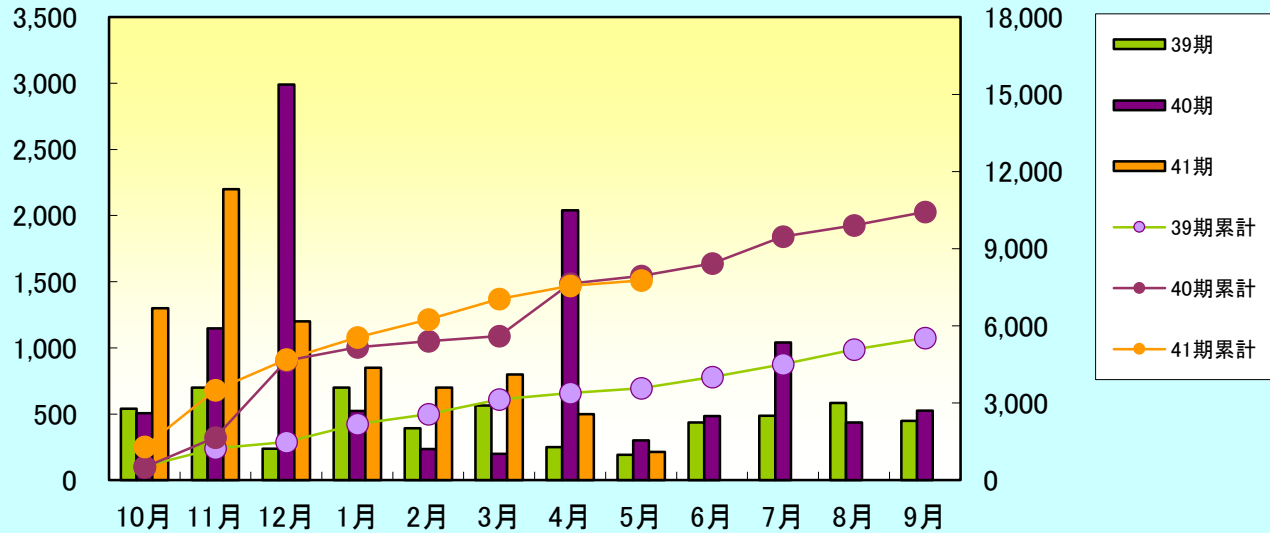
累計/折れ線(kwh)



ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

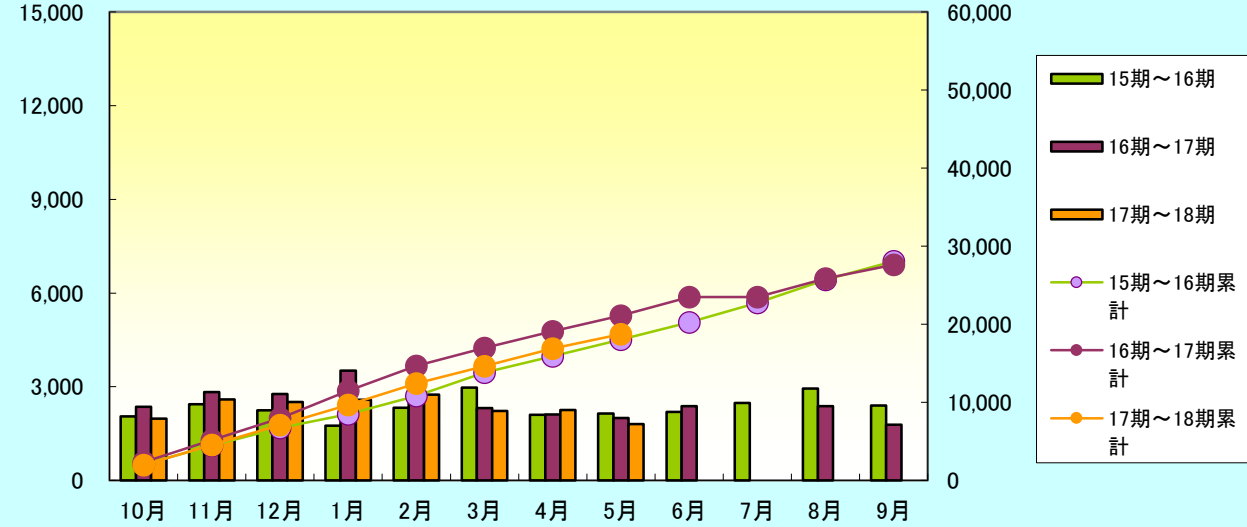
累計/折れ線(個)



電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

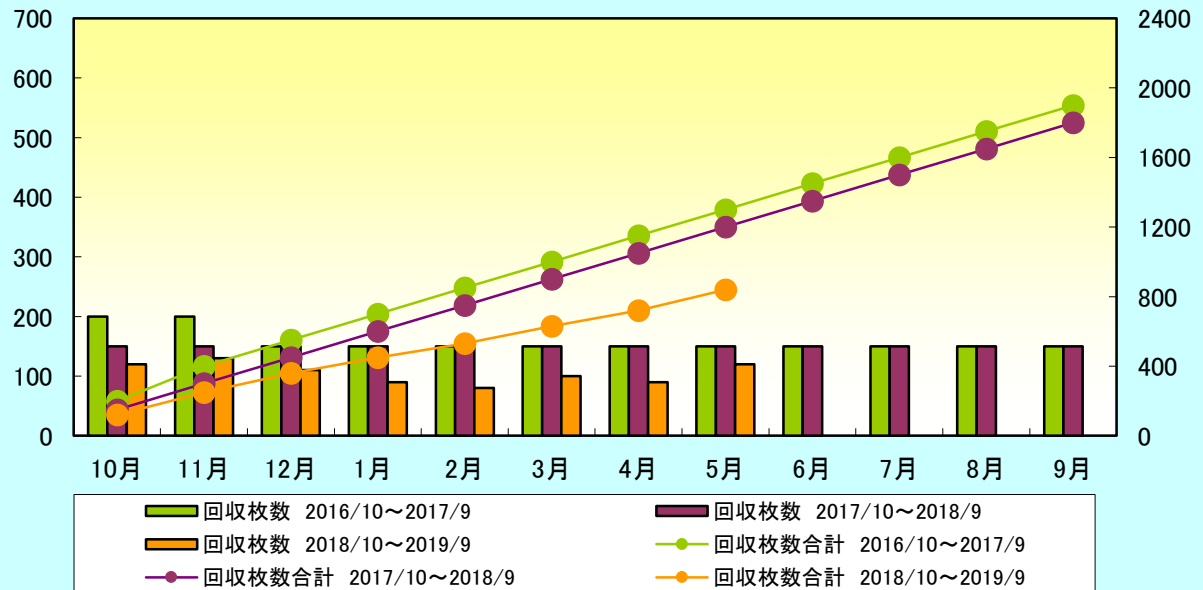
累計/折れ線(kwh)



使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

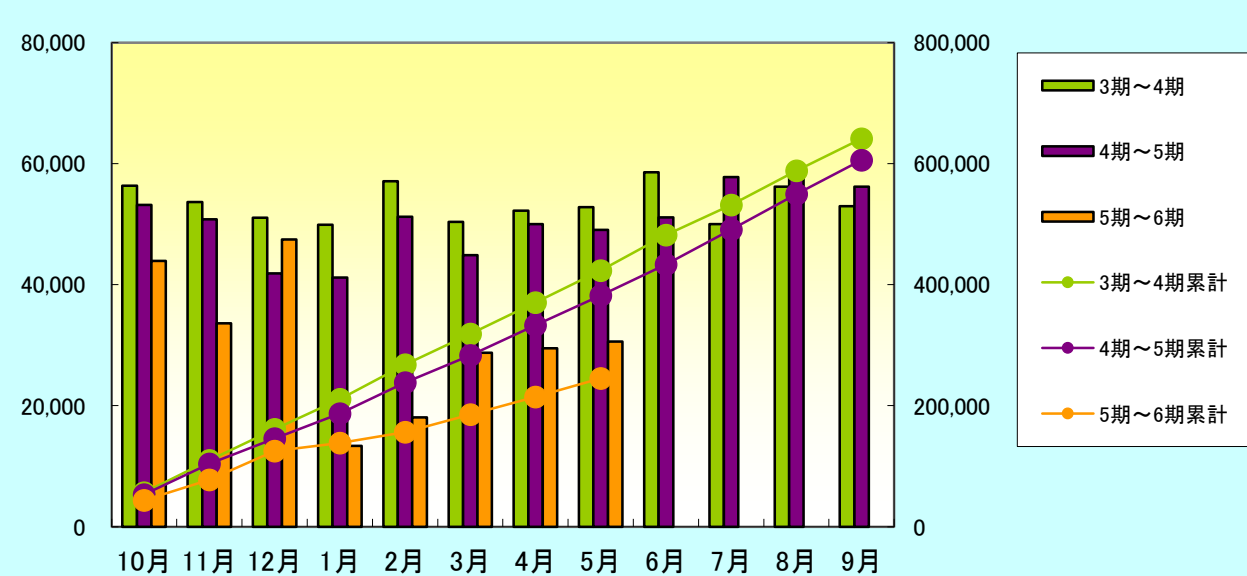
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

● 国立大学法人信州大学にて

『作業ではなく仕事をするための働き方改革』について講義を行いました！

サンシングループ代表 石井宏宗が、6月26日（水）国立大学法人信州大学にて、2019年度男女共同参画推進センター運営委員会主催の男女共同参画講座「人生100年時代のキャリアビジョン」のコースのひとつとして、『作業ではなく仕事をするための働き方改革』について講義を行いました。

講義は一般公開され、信州大学の学生のみならず、教職員、一般の方々へも公開されました。サンシングループの長年にわたる先駆的な健康経営への様々な取り組みや働き方改革事例、作業ではなく仕事をするための働き方改革について、マインドマップも使いながら講義が行われました。質疑応答では、聴講された学生や経営者などから様々な質問が成され、時間を延長しての活発な質疑応答となりました。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。



今月のTOPICS

●サンシン大学『体の不調は姿勢で改善！』が開講されました！

サンシン大学では、4月、5月に続き「健康経営セミナー」の一環として、Ariya Yoga Academy 代表 福成 康洋 氏を講師にお迎えし、『体の不調は姿勢で改善！』と題してご講義頂きました。

座学では筋肉の基本を学び、体調と普段の姿勢が密接に関連していることを学ぶと共に、自分の姿勢のタイプに合わせたストレッチを体験しました。講師と共に受講生全員が体を動かすことで楽しい講義となっただけでなく、普段の生活に無理なく取り入れることが出来るセルフケアの方法などを楽しく学ぶことが出来ました。

講義は、国内外のサンシングループ全拠点に一斉にWEB配信されました。



TOPICS

●協会けんぽ「健康優良企業・銀の認定証」が1年間更新されました！

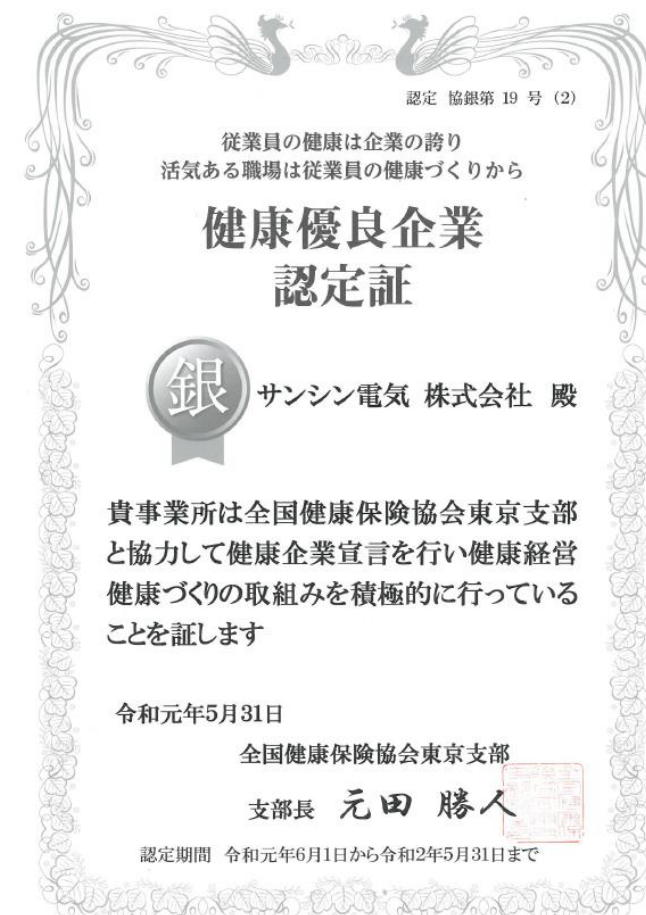
サンシン電気（株）は、2016年10月に「健康企業宣言」をし、2017年5月に協会けんぽ・東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」を受け、日々、健康企業宣言に資する健康経営・健康づくりの取組みを継続して進めてきました。

今年5月末に3回目の認定を受けるべく更新申請をし、2020年5月31日まで認定期間が更新されました。

「銀の認定証」を受けるためには、社員の健康診断の100%の受診、特定保健指導の実施、職場の「食」「運動」「禁煙」についての継続した情報提供・共有等が必須です。

この「銀の認定証」は、サンシン電気（株）が昨年も経産省から認定を受けた「健康経営優良法人（中小規模法人）」の審査を受けるための登竜門（協会けんぽ・東京支部限定）でもあり、「銀の認定証」無くしては、「健康経営優良法人（中小規模法人）」の申請も出来ません。これからも社員とそこご家族の健康と幸せのために、健康経営・健康づくりへの取組みを積極的に進めて参ります。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（5月参加人数：延べ7名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（シグマ・フード・サービス）
- 動物介在ボランティア活動実施（シグマ・フード・サービス）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ：七夕飾り

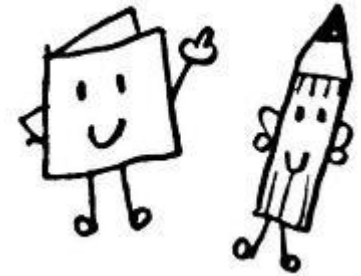


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績5名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 2ヶ月に1回、マッサージ・リフレクソロジーサービスを実施（女性を中心に10名／回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2019年5月更新）⇒3年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2019（中小規模法人部門）」の認定取得（2019年2月）⇒3年連続！
- 東京都より「平成30年度スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「平成30年度スポーツエールカンパニー」の認定2年連続取得（2017年・2018年）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・新製品紹介・英会話・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能



サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers

We're loved by our customers

*Always be a Virtuous **Shonin***

Virtue as a Shonin

It is important for us to have Virtue as a *Shonin* in order to secure our customers' approval and support at all times.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

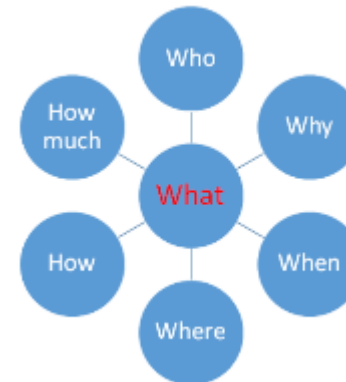
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H

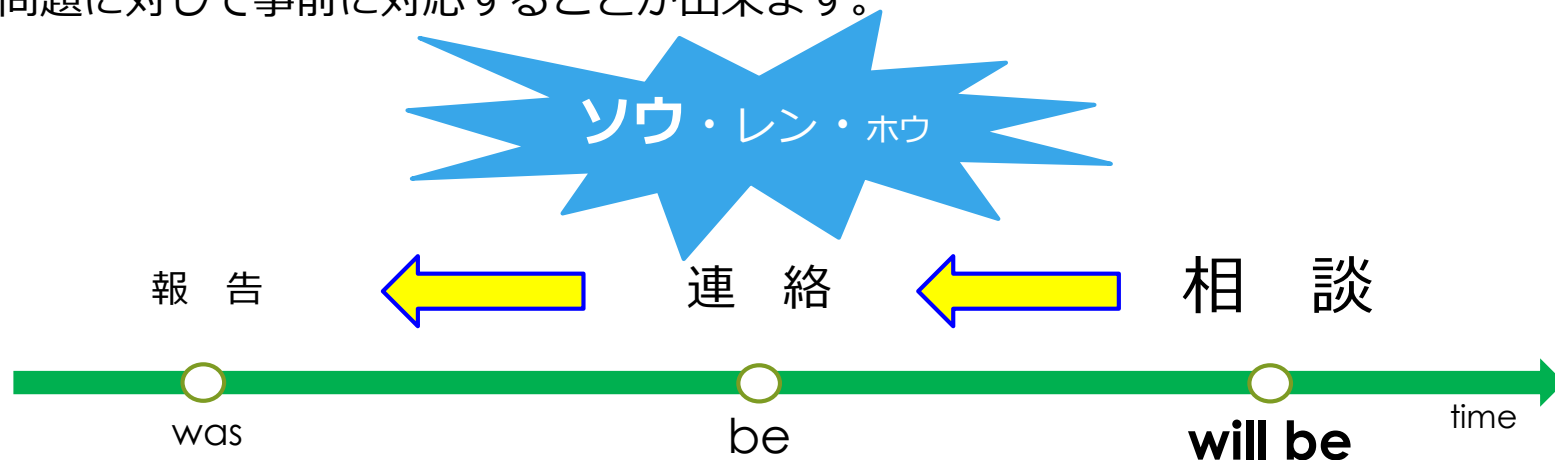


PDCA→P' サイクルの概念



未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集
後記

サンシン電気 営業管理課 Y.Y.

梅雨ですね…。水無月の由来には諸説あるそうですが、水無月の「無」は「の」を意味する連体助詞「な」であり「水の月」であるとする説が有力だそうです。なぜ梅雨なのに水が無いんだろう…？梅雨が明けて水が涸れてなくなる月であると解釈されることもあるそうですが、どうやら俗説との事。過ごしやすい季節ではないですが、ストレスを溜めないように、体調には気を付けて過ごしましょう。